

授業科目名	子どもと自然			科目コード	K1201L13
英文名	Children and Nature				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授	担当教員名	松山 友之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	乳幼児期の子どもと自然について、その心身の発達や五感を使って感じ、どのように生活に取り入れていくかを実際の遊びや活動など体験を通して学び、子どもにどのように働きかけるかを考える。また、子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針等 に示される保育の内容、特に領域「環境」に関する専門的事項を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得するとともに、保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得することを目指す。				
キーワード	発達	自然	環境	五感	遊び
到達目標	乳幼児期の子どもがどのように身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつかを知り、配慮や指導の仕方を身に付けることができる。(40%)				
	乳幼児期の子どもがどのように身近な環境に自分からかわかり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとするための配慮や指導の仕方を身に付けることができる。(30%)				
	乳幼児期の子どもが、身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、モノの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにするための配慮や指導の仕方を身に付けることができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○	○		○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 乳幼児期の子どもの心身の発達と自然認識について概要を学び、どのように自然とかがわかることが大切かを考える。小学校のスタートカリキュラムも含め、幼児期と小学校との接続についても理解する。	
	【予習】	
	【復習】乳幼児期の子どもの心身の発達と自然のかかわりについて考えをまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第2回	子どもと土・水 乳幼児期の子どもにとって身近な物である土・水について、どのように認識し、一人一人の遊びや活動の中で生活に取り入れ自分のものとしていくかについて考える。また、実際の活動からその面白さを学ぶ。	
	【予習】子どもの頃の土・水に関する体験を思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】土・水を使った遊びや活動について考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第3回	子どもと風・空気・におい 乳幼児期の子どもが日々の生活の中で体感する風の力から見えない空気存在、そしてその風が生み出す物の動きなどについて実際の遊びや活動から考察し、どのように環境を構成するかを考える。想像力を豊かにするにおいについても考察する。	
	【予習】子どもの頃の風・空気・においに関する体験を思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】風・空気・においに関する遊びや活動について考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第4回	子どもと植物・動物・身近な人 乳幼児期の子どもが身近な植物・動物とどのようにかかわり、生命として認識していくかを理解し、命の尊さや動植物をいたわり、大切にすることについて考える。また、身近な人とのかかわりと生活との関連についても考察する。	
	【予習】子どもの頃の光・色・音に関する体験を思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】光・色・音を使った遊びや活動について考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第5回	子どもと光・色・音 乳幼児期の子どもにとって身近な光や色、そして音について、どのように認識するかを理解し、子どもが五感を通して感じる遊びや活動にどのようにつながりがあるかを考える。	
	【予習】子どもの頃の光・色・音の体験を思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】光・色・音の遊びや活動について考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第6回	子どもと季節・世界・人 乳幼児期の子どもが感じる季節、暖かさや冷たさ、自然の変化といった時とともに変化する自然のようすを知ること。また、子どもが将来出会うであろう世界の国の人々や地理といった広がりを知ること。これらの内容をICTを活用することや実際に体験し関わるることについて考える。また、人権教育の視点からも考察する。	
	【予習】子どもの頃の季節・世界・人について感じたことを思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】季節・世界・人に関して、どのように乳幼児期の子どもたちにはたらきかけていくかを考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第7回	課題研究「子どもが豊かに自然とのかかわり、周囲の環境を生活に取り入れていこうとする力を養う遊びや活動はどうあればよいか」	
	【予習】グループで課題解決に向けて、取り組んでみたいテーマを考える。	30分
	【復習】グループで課題研究発表に向けて、力を合わせ遊びや活動の計画し、必要なものを準備する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第8回	課題研究発表と教材づくり グループで考えた遊びや活動、その環境構成を発表する。またその遊びや活動を実際に体験することで乳幼児期の子どもがそれらを生活に取り入れていこうとする力を養うことにつながるかを話し合う。子どもたちが自然とかがわかることができる教材づくりについて考えをまとめる。	
	【予習】グループで課題研究発表に向けて、力を合わせ遊びや活動を計画し、教材づくりに取り組む。また、必要なものを準備する。	120分
	【復習】課題研究発表での取り組みや協議から得られたこと、教材づくりについて課題研究レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題研究と課題レポート（30％）、8回の取組の状況及び小テストと小レポート等(70％)により評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	幼稚園教育要領解説（平成29年3月31日公示）	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、授業中に紹介する。
授業外学修等	毎回の授業内容や小レポート、課題レポートに関連する学習内容を関連書籍や資料を通して調べる。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（matsuyama@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー	金曜1限		